



### 第3回定例会一般質問

去る9月17日から10月15日の29日間にわたって、第3回定例会が開かれました。私は10月5日(月)に一般質問を行いました。

1点目の「今後の市民活動のあり方」について、新型コロナウイルスの影響で、今年の町内会行事などは軒並み中止を余儀なくされました。

このような自治活動や市民活動がストップしてしまった結果、今後活動が継続できなくなるところも出てくるのではないかと心配です。この懸念に対して市長の考えと対応を問いました。

2点目として公共施設等の感染予防対策と新型コロナウイルスに対するBCPの必要性についてたずねました。BCP(事業継続計画)とは、自然災害などの不測の緊急事態に遭遇した場合において、損害を最小限にとどめつつ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき準備や緊急時における事業継続のための方法、手段などをあらかじめ決めておく計画のことです。

千歳市では、平成28年度に大規模災害を想定した千歳市業務継続計画と平成26年度に策定された「千歳市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づくBCPを策定していますが、今回の新型コロナウイルス感染症に対応するBCP策定の必要性や、冬期間に再び介護従事者に対するインフルエンザウイルスワクチンの無償接種などについて訴えました。



#### ◎第3回定例会一般質問項目

##### 1 まちづくりに対する市長の政治姿勢について

- (1) 今後の市民活動のあり方
- (2) 感染予防対策等とBCP
- (3) 公立千歳科学技術大学との連携事業
- (4) 定住しやすい住環境づくり

3点目にたずねたのは公立千歳科学技術大学(以下「科技大」と千歳市との連携事業についてです。

科技大公立化の議論の際には、科技大が提唱するスマートネイチャーシティちとせ(SNC)構想との連携によって、いろいろな分野で科技大の持つ知見を活用し、市民や市内の立地企業などに対して恩恵を供与できるとの説明がありました。しかし、令和3年度から始まる市の次期総合計画や各個別計画の中には、科技大との連携事業が一切うたわれていません。科技大を公立化する際には大風呂敷を広げておきながら、いざスタートしたら市は一切

の計画に科技大との連携を考慮していません。市側がはしごを外してしまったのでは当初の説明と整合性が取れません。この点を中心に市長の考えを質しました。

4点目としてたずねたのは「定住しやすい住環境づくり」についてです。

先ごろ、富丘1丁目～3丁目までの市営富丘団地跡地の土地、4ブロックが一般競争入札にかけられ、坪単価16万円台から20万円台で落札されました。この一連の市有地は、一般宅地用地として分譲される見込みとされていたため、マイホームを夢見る子育て世帯や市内の不動産関連事業者からも注目されていましたが、落札額が予想を大幅に超えたため、分譲価格はさらに高騰し、手ごろな価格で住宅が購入できないのではと希望者より落胆の声があがっていました。

現在、千歳市内はさながら土地バブルの様相を呈しており、今回の土地取引が実績となって市内の土地取引額

がさらに上昇することになれば、新築住宅を求めている若年層の住民があっさりと周辺の他市町に転出してしまいう可能性も高まります。

この点を踏まえて、今後の千歳市の望ましい住環境形成についていくつか市長の見解をうかがいました。

今回も歯切れのよい答弁はいただけませんでした。当日の私の質問並びに市長答弁の詳細については、千歳市議会のホームページから Youtube 動画にてご覧いただけますので是非ご視聴ください。(Youtube チャンネルより「千歳市議会」と検索してください。)

また、今回の定例会では、私の所属する会派「ちとせの未来を創る会」より、「30 人以下学級実現と必要な教職員の確保と適正配置に向けた意見書」並びに「JR 長都駅前への交番の設置を求める意見書」を提出し、採択されました。

## 「ちとせの未来を創る会」の研修会と市政報告会を開催



9月2日(水)北ガス文化ホールにて、私の所属する「ちとせの未来を創る会」による研修会及び所属議員4名の市政報告会を開きました。今回は新型コロナウイルス感染予防のため、定員を20名に限定させていただきました。第1部の研修会は講師に北海道大学法学研究科・公共政策大学院教授の宮脇淳先生をお迎えし、「コロナ禍での今後の千歳を考える」という題目で講義を行っていただきました。宮脇先生からは、「千歳市の第7期総合計画をスタートさせるにおいては、市が市民や市議会と一緒に政策の優先順位を議論して、合意形成を図るべき。」と述べられました。市は来年度からスタートする第7期総合計画について、昨年度行った市民アンケートなどをベースに策定した計画素案に沿って進め、コロナ禍などの影響に応じて逐次見直しを行うと説明しています。しかし、この新型

コロナウイルスの影響がいつまで、またどこまで広がるのか、現在のところ皆目見当がつかえません。新千歳空港を離発着する国際線は完全にストップし、いつインバウンド需要が復活するかもわかりません。もし事業の進捗に必要な予算が確保できないとなった場合、『何を残して何を諦めるか』の取捨選択は、行政の恣意ではなく当然市民の意向が尊重されなければなりません。私は市民の声を聴き、またその声がまちづくりに反映されるよう、これからもしっかり取り組んでまいります。

第2部では会派所属議員が各々直近の取り組みを発表させていただきました。私もこの「ちとせみらい通信」をお配りして議会等における活動内容を報告させていただきました。参加者の皆さまからも講師や私たち議員に対して活発な質問やご意見をいただき、たいへん有意義な集会となりました。

市政や議会に関するあなたの疑問やお困りごとをぜひ北山けいたにお聞かせください。



メール: [mail@kitayama-keita.com](mailto:mail@kitayama-keita.com)

ホームページ: <http://kitayama-keita.com>



私、「北山けいた」は、「公正・公平」な社会と、お子様からお年寄りまですべての世代が笑顔で生活できる環境の形成を目指しています。皆さまの市政に対する素朴な疑問をご遠慮なくお寄せください。また、市民参加型の市政運営を目指して、様々な市民活動も積極的に支援しております。

お問い合わせは上記のメールからお願い致します。

**ちとせみらい通信**は私の想いを届けるかわら版です。

